

5. Programme of work in the field of population for the biennium 1984-1985 and medium-term plan for the period 1984-1989
6. Draft provisional agenda for the twenty-third session of the Commission
7. Adoption of the report of the Commission on its twenty-second session

(山口喜一記)

### 1984年国際人口会議準備委員会

1981年11月25日の国連経済社会理事会の決議により、1984年国際人口会議の開催（8月、メキシコ）が決定されたが、この決議は、同時に国連加盟国に対して公開した人口委員会をもって国際人口会議準備委員会とすることを決定した。さらに、1982年7月27日の経済社会理事会は、国際人口会議準備委員会であるべき人口委員会を、第22回国連人口委員会に引き続き開催することを決定している。

これらの決定に基づいて、1984年1月23日から27日まで標記の委員会（Preparatory Committee for the International Conference on Population, 1984, 23-27 Jan. 1984）がニューヨークの国連本部において開催された。出席者は96か国の代表、七つの国連機関、五つの専門機関、四つの政府間機関、PLO、12の非政府団体、その他の二つの団体であったが、本研究所の岡崎陽一所長も日本の代表として、上記の国連人口委員会に引き続いてこれに出席した。

この会議の議長には、メキシコの Mr. Gerónimo Martínez、副議長にはガーナの Mr. Frederick Sai、インドの Mr. R.P. Kapoor およびルーマニアの Mr. Pavel Grecu が、そしてラポターにオランダの Mr. Ewald Brouwers が選出された。この会議の詳細についても、本誌「資料」欄に掲載されているところによってもらいたい。ここには議題（Agenda）を示すにとどめる。

#### AGENDA

1. Election of officers
2. Adoption of the agenda and other organizational matters
3. General preparations for the Conference
4. Review and appraisal of the World Population Plan of Action
5. Recommendations for the further implementation of the World Population Plan of Action
6. Draft provisional rules of procedure for the Conference
7. Annotated draft provisional agenda and proposed timetable for the Conference
8. Adoption of the report of the Preparatory Committee for the International Conference on Population, 1984

なお、この1984年国際人口会議に向けての準備委員会は、その後3月12日から16日にかけて再び開催されているが、これには、厚生省大臣官房政策課の府川哲夫課長補佐が出席された。

(山口喜一記)

### 「メキシコ人口活動促進プロジェクト」策定協力専門家調査団への参加

国際協力事業団（JICA）は、メキシコにおいて人口分野の技術協力の可能性を探るため、1983年11月20日から12月10日まで専門家調査団を派遣した。調査団は日本大学人口研究所小林和正教授を団長として、国際協力事業団医療協力特別業務室の田辺耕治室長代理、本研究所からは阿藤誠人口資質部長、東京大学大学院社会学研究科の石井紀氏（文化人類学専攻）の計4名から成り、主としてメキシコ内務省直属の人口審議会（CONAPO）の事務局（兼研究調査機関）と協力内容を協議した。